

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 情報 科目 情報 I

教科： 情報 科目： 情報 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書： (『高等学校情報 I』 数研出版)

教科 情報 の目標：
 【知識及び技能】 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。
 【思考力、判断力、表現力等】 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目 情報 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>●情報とメディア</p> <p>【知識及び技能】 何気なく使っている言葉である「情報」や「メディア」とは何かを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して、問題を解決する方法を習得させる。 【学びに向かう力、人間性等】 「情報」がもつ意味やはたらきに興味を抱かせ、適切に情報を扱うことに意欲を持たせる。</p>	<p>A 情報とは何か B 情報源と情報の検証 C 情報技術の発展の光と影 D 情報技術の適切な活用 E 情報とメディアの特性 F 問題解決のプロセス</p>	<p>【知識・技能】 ・「情報」がもつ意味やはたらきについて理解している。 ・さまざまなメディアの特徴を理解している。 【思考・判断・表現】 ・情報の産出や伝播、情報を検証する方法について考え、判断し、その結果を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「情報」がもつ意味やはたらきについて関心をもっている。 ・情報を適切に表現するための表現形式について関心をもっている。</p>	○	○	○	4
<p>●情報社会における法とセキュリティ</p> <p>【知識及び技能】 情報社会でよりよく生きるために、情報モラルにもとづいた行動や、定められている法規・制度について理解させる。 個人情報やプライバシーの保護・活用に関連する法律の意義や目的、内容について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 情報に関する法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて、それらの背景を科学的に捉え、考察する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 情報社会を支える法規や知的財産権の必要性に気づかせ、関心を持たせる。 情報セキュリティに対する意識を高める。</p>	<p>A 情報社会と法規・制度 B 個人情報の適正な利用と保護 C 知的財産権 D 情報セキュリティ E 情報セキュリティ対策のための技術 F 情報セキュリティ対策への意識 G 情報セキュリティ対策に関するプレゼンテーション</p>	<p>【知識・技能】 ・情報社会を支える法規・制度について理解している。 ・ユーザ認証やアクセス制御など、情報セキュリティを確保するために必要な知識を身に付けている。 ・架空請求などの被害にあわないよう、適切にインターネットを利用することができる。 【思考・判断・表現】 ・法を遵守した判断や情報モラルに配慮した適切な判断ができる。 ・セキュリティを脅かす問題に対する適切な対応について考え、判断している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報社会を支える法規・制度について意欲的に学ぼうとしている。 ・セキュリティを脅かす問題について関心をもっている。</p>	○	○	○	8
<p>●情報デザイン</p> <p>【知識及び技能】 情報デザインについて、情報を抽象化・構造化・可視化する方法を習得し、情報を伝える目的や受け手の状況をふまえた適切な表現方法を選択できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションの目的を明確にして、適切かつ効果的な情報デザインを考える力を育む。 【学びに向かう力、人間性等】 コンピュータを活用した情報表現に関心を抱かせ、わかりやすく相手に情報を表現しようとする姿勢を育む。</p>	<p>A コンピュータの基本的な操作 B 文書作成の基礎 C 情報を表現する方法</p>	<p>【知識・技能】 ・情報を適切な方法でわかりやすく表現することができる。 【思考・判断・表現】 ・コミュニケーションの目的や受け手の状況に応じて、情報をどのように活用・表現すればよいか考え、その結果を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・コンピュータを活用して情報を受け手にわかりやすく表現することに関心をもち、積極的に工夫している。</p>	○	○	○	6
<p>●プレゼンテーション</p> <p>【知識及び技能】 コミュニケーション手段の1つとして用いられているプレゼンテーションについて、その基本、重要性、手法を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や対象者に応じてプレゼンテーションの内容を考えることができる力を育む。また、他者のプレゼンテーションを効果的に評価する方法を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 プレゼンテーションの対象者に自分の考えが伝わりやすくするため、積極的に工夫をする姿勢を育む。</p>	<p>A プレゼンテーションとは B プレゼンテーションの流れと注意 C 相互評価について</p>	<p>【知識・技能】 ・プレゼンテーションとは何かを理解している。 ・プレゼンテーションの実施や資料作成のための知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・プレゼンテーションの目的や対象者をふまえて、効果的なプレゼンテーションとなるよう考えている。 ・相互評価において、妥当な評価ができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・効果的な資料作成や発表に関心をもち、積極的に工夫している。 ・他者の発表を聞き、自身の発表に生かそうとしている。</p>	○	○	○	6
<p>●コンピュータのしくみ</p> <p>【知識及び技能】 コンピュータの基本的な構成を理解させる。 OSやアプリケーションプログラムのちがいが、ソフトウェアの基本的な内容を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 コンピュータの本体や周辺装置やコンピュータのしくみに興味を抱かせ</p>	<p>A コンピュータの構成 B コンピュータのソフトウェア</p>	<p>【知識・技能】 ・コンピュータの基本的な構成について理解し、基本的な操作ができる技能を身に付けている。 ・OSの役割やアプリケーションプログラムとのちがいについて理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・コンピュータの本体や周辺装置に関心をもち、積極的に活用しようとしている。</p>	○	○	○	6

